

三つの花（西部小学校だより） 滑川市立西部小学校 R6.6.10

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

子供たちの姿・様子から感じたこと

先日、6年生・5年生が中心となり、子供たち全員に児童会活動の目標や内容を伝える集会が開かれました。西部小学校の児童会活動は、「学校の課題を子供たちが自分たちで見付け、自分たちで解決しようと考え、その中で自分ができることに参加する。」「全校の子供たちが助け合い、協力し合い仲良くなる。」「伝統の3つの花を咲かせることを意識し、伝統を引き継いでいく気持ちを高める。」「縦割り班の活動を通して、異学年の友達にも思いやりの心をもつ。」ことを目標としています。

「にこにこ花」「ほかほか花」「きらりん花」の3つの花を咲かせるために具体的にはどんなことをしたらいいのか、各学級で話し合い、さらに代表委員会で話し合い、その内容を運営委員会の子供たちが、「『あいがも』という言葉で、みんなでいつも意識しよう。」と集会で伝えました。

『あ・い・が・も』と3つの花をさかせよう！

あったか言葉で思いやり

いつもあいさつ

がんばってチャレンジ

もくどうせいそう しんけんに

『あいがも』の「あい」は、自分を意味する「I」でもあるし「愛」でもあるとのこと。

子供たちのアイディアはすごいです。

朝、あいがもの格好をしてあいさつ運動をしている運営委員会の6年生も素敵です。

集会は、その後、縦割り班毎に自己紹介をし、ゲームをしたり、班の旗づくりにチャレンジしたりし1年生から6年生までが交流を深めました。子供たちの笑顔がとても素敵だなと思いました。

この集会の中でもたくさんの「にこにこ花」「ほかほか花」「きらりん花」が咲きました。

まず、話をしっかり聞く姿勢を自分たちで考え整えました。みんなが楽しむことができるよう考えた結果です。にこにこ花が咲いていました。次に、活動中、上級生は下級生へ声をかけたり、励ましたりしていました。とにかくやさしいのです。ほかほか花が咲いていました。そして、6年生は、当日まで準備を重ねてきました。班のみんなが一人ずつ同じ絵を描く班の旗づくりでも、下級生が描きやすいようなテーマにしているのです。きらりん花が咲いていました。3月まで、どんな花が咲き、どんな笑顔があふれるのかとても楽しみです。先生方が、子供たちに指導しながら、任せるところを任せた結果、子供たちが成長した一場面です。

次は、子供たちにまだまだ頑張ってもらいたいところについてお話しします。それは「ありがとう」の言葉をもっと大切にしたいということです。感謝の気持ちはもっているのですが伝えるのがまだ上手ではない子供が多いです。友達や教職員、地域の方々、ご家族に対して「ありがとう」と自然に言えるようになってほしいです。「ありがとう」は、魔法の言葉です。例えば、落とした消しゴムを友達に拾ってもらったら一言「ありがとう」と伝えるだけで「ほかほか」が広がるのです。

また、正しいことを真面目にやることをもっと素直にカッコいいと思ってほしいことです。みんなと一緒にちょっと悪ぶってみたい気持ち、おどけてみたい気持ちは分かります。それも子供らしさかもしれませんが、大切な時に真面目な行動ができる子供は勇気があり強く、みんなに認められ憧れられる存在だと思います。もしかしたら、自分だけいい子になってしまいみんなから浮いてしまうのではないかと心配する子供もいるかもしれません。しかし、この勇気ある行動こそ西部小学校にどんどん広がってほしいことだと考えます。子供たちの心の中にあるこのような気持ちを大切にしてもらいたいと思います。

学校では、このような心を育てるために最大限の支援をしていきますので、ご家庭でも励ましの声かけやサポートをお願いいたします。

ホタルの産卵・幼虫飼育・幼虫放流

6月、毎年楽しみにしていることのひとつが、神秘的に光るホタルを見ることです。近年、市内のまちなかでもホタルが増えてきているように感じます。今年は5月下旬から飛んでおり、まさしく今、よく見ることができます。

突然ですが、6月6日、西部小学校にホタルの産卵箱を設置しました。滑川市と滑川市教育委員会の許可をもらい、市内のホタルを捕獲し、産卵させ幼虫を育て放流することを予定しています。（放流場所は、校区にある児童館そばの湧水が流れている用水を予定しています。）

ホタルの幼虫の飼育は、水質や餌の管理が大変難しいのですが、命ある生き物を育てるのでしっかり研究しながら取り組みます。校長のチャレンジです。

さて、産卵箱を設置したことで、さっそく教職員間で話題になりました。家でホタルが飛んでいますと教えてくれた職員もいます。ホタルを子供たちに見せたいなあと言ってくれた職員もいます。以前の勤務校で育てた経験を教えてくれた職員もいます。6月6日夜、ホタルが飛んでいるのを見たいと親ホタルの捕獲に同行してくれた職員もいます。一緒に市内2か所でゲンジボタルを十数匹捕獲しました。

そして、7日の朝、子供たちが興味津々で箱の中のホタルを覗いていました。午前中は発光しないのですが、光ることを想像して話しているのです。夜、産卵箱の中で黄緑に光る姿も見せてあげたいなあと思いました。また、校区の用水の周りを乱舞する姿も見せてあげたいと思いました。

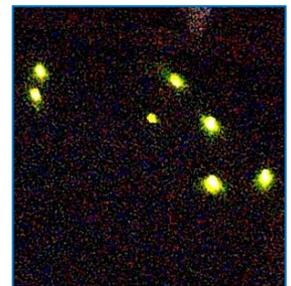
面白かったのは、ホタルの産卵箱を見て、「ホタルイカがいる？」と言った子供がいることです。今年は久しぶりのホタルイカ豊漁の年だったので、生きて青く発光するホタルイカの姿や身投げの様子も見せたかったと思いました。



ホタル産卵箱



ゲンジボタル 雌・雄



ゲンジボタルの発光
2024.6.6 産卵箱内

西部小学校に設置したホタルの産卵箱の中でも、夜、神秘的な光を放っています。

6月10日（月）の20：00～21：00に学校玄関で、鑑賞できるようにいたします。希望される方はお越しいただきそっとご覧ください。なお、その際、ライトの光をホタルに向けないようにご配慮ください。

たくさんの教職員が子供たちをサポート

学校は、たくさんの教職員で子供たちを指導・支援しております。今回は、教頭、教務主任、学校事務について紹介します。

教頭は、職員室の担任と言われるように管理職として学習指導や生徒指導面等、様々な先生方の相談にのったり、地域やPTA、その他外部機関との連絡調整を行ったりする他、様々な調査への対応や施設管理、修繕の依頼、また、子供たちの指導も行います。まさに学校の要です。

教務主任は、全校の時間割を調整したり、学校行事を含めた週予定を計画したり、出張等の先生がいる場合そのクラスを担当する先生を調整したりするなど、各クラスの授業がしっかり進むよう綿密な計画や調整を行います。学習指導や教員研修の中心的役割を担っています。

学校事務職員は、学校の出納関係を一手に引き受けています。児童の集金や支給関係、学校に必要な備品や消耗品購入及び教職員の給与関係の事務手続き、また、児童の転出入や教職員の休暇関係の事務手続きも行います。行政職のプロです。

ここで紹介するのは、それぞれの業務の一部で、この他にもたくさんの業務を行っています。学校はたくさんの職員がチームで仕事をすることで動いています。

子供たちの日頃の学校生活の様子は、学年だよりや学校ホームページで紹介します。ぜひ、楽しみにしてください。
西部小学校学校ホームページ <https://seibu-e.namerikawa.ed.jp>